

# 議会だより

# いかるが

# No.122

令和6年(2024年)11月1日

発行 斑鳩町議会  
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号  
電話 0745-74-1091(直通)  
FAX 0745-74-1011  
Eメール: gikai@town.ikaruga.nara.jp

発行人 議会議長 中川 靖広  
編集 広報発行常任委員会



▲法起寺の夕景

## 9月定例会



こんなことが決まりました .....	②ページ
令和5年度決算を審査 .....	③ページ
本会議での討論 .....	⑤ページ
7人の議員が一般質問を行いました .....	⑥ページ
委員会のうごき .....	⑪ページ

こんなことが決まりました

# 第3回 定例会

令和6年9月2日～9月26日

令和6年第3回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

決算：決算審査特別委員会	3～5ページ
建水：建設水道常任委員会	11ページ
厚生：厚生常任委員会	12ページ
総務：総務常任委員会	13ページ

	定例会の案件	付託先	結果	
条例	斑鳩町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について	厚生	満場一致で可決	
	斑鳩町国民健康保険条例の一部を改正する条例について			
契約	平成緊急内水対策事業に伴う調整池整備工事請負契約の変更について	建水		
	令和6年度塵芥収集車(ダンプトラック車)の取得について	厚生		
予算	令和6年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について	総務		
	令和6年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	厚生		
	令和6年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について			
	令和6年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について			
決算	令和5年度斑鳩町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算		満場一致で認定
	令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について			賛成多数で認定
	令和5年度斑鳩町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		満場一致で認定	
	令和5年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について			
	令和5年度斑鳩町水道事業会計決算の認定について			
	令和5年度斑鳩町下水道事業会計決算の認定について			
その他	奈良県広域水道企業団の設立に関する協議について	建水	満場一致で可決	
	奈良広域水質検査センター組合規約の変更について			
	奈良広域水質検査センター組合の解散について			
	奈良広域水質検査センター組合の解散に伴う財産処分について			
	奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	厚生		
人事	人権擁護委員の推薦について意見を求めることについて		満場一致で 適任と答申	
	教育長の任命について同意を求めることについて		満場一致で同意	
	斑鳩町教育委員会委員の任命について同意を求めることについて			
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について (令和6年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)について)		報 告	

5ページに  
賛否の討論

おかだ まさき  
岡田昌樹氏を  
推薦すること  
に適任と答申

やまもと まさあき  
山本雅章氏を  
任命すること  
に同意

おの たかひで  
小野隆秀氏を  
任命すること  
に同意

# 令和5年度決算を審査

令和5年度斑鳩町一般会計、各特別会計、企業会計等の歳入歳出決算を審査するため、9月9日、10日の2日間にわたり、決算審査特別委員会を開催しました。委員から多くの質問や意見がありましたが、今回はその主な内容をお知らせします。

## 一般会計

委員会では、監査委員から、各会計決算について、それぞれ関係法令に準拠して調製され、誤りがないものと認められたこと、また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されていると認められたとの報告を受けました。この報告を受けた後、決算の認定のための審査を行いました。

### 防災情報が確認できる戸別受信機の貸与を開始

**問** 令和5年度に、災害発生時にデジタル防災行政無線システムの放送内容を屋内で確認できる戸別受信機1,503台の無償貸与を開始されたが、設置に係る費用は、単年度のみ支出か、また、今後毎年必要となるものか。

**答** 令和4年度に防災行政無線システムの構築を行い令和5年度に設置を希望さ

れる住民等に戸別受信機の設置を行ったもので、基本的に単年度のみ支出です。

なお、今後必要となれば、追加購入をする予定です。



▲令和5年度に導入した戸別受信機

### 子ども医療費の助成を高校生まで拡大

**問** 子ども医療費の支給額について、県事業と町事業ともに増えているが、これは、対象を高校生まで拡大したことによるものか。また、他の要因もあるのか。

**答** 支給額が増加した主な要因は、インフルエンザの流行によるものですが、令和5年4月から医療費助成の対象を高校生まで年齢を拡充したことにより、約1,380万円増加しています。

### ファミリー・サポート・センターの利用者が増加

**問** 育児の援助を受けた人と援助を行いたい人が相互援助活動を行うファミリー・サポート・センター事業の利用者が2倍近く増加している要因は何か。

**答** ファミリー・サポート・センターは、令和2年度に開設しています。コロナ禍の影響で令和3年度までは利用が少ない状況でしたが、令和4年度では103件、令和5年度では202件と前年度より99件増加しました。この要因は、各種町事業の再開や参加人数の増加に伴い、町事業の託児サービスの利用が前年度より62件増加したこと等によるものです。

### 産業まつりの参加者が増加

**問** 令和5年度に産業まつりの会場の場所が変更となったが、参加者数はどのように変わったか。また、斑鳩の里文化芸術祭との合同開催のメリットは。

**答** 令和5年度の産業まつりの参加者数は、約2,500人で前年度より約500人増加しています。合同開催としたことにより、それぞれの担当課が協力しあうことで職員の負担軽減につながるとともに、文化芸術祭の参加者が産業まつりに参加されるなど、相互のイベントの参加者増につながり、相乗効果があったと考えています。

### 法隆寺南大門のプロジェクトに多くの人が来場

**問** 法隆寺南大門のプロジェクトに多くの人が来場されたが、今後も観光のために呼び込む事業を考えているか。



**答** 世界文化遺産登録30周年記念として実施したもので、法隆寺の協力のもと、観光庁の調査事業の財源があったため、このような大規模イベントが実施できました。毎年開催は難しいですが、節目の年には財源の課題等もありますが検討していきたいと考えています。



▲法隆寺南大門のプロジェクションマッピング

## 行革アクションプランの推進

**問** 行革アクションプランの推進について、どのような成果があったか。

**答** 行革アクションプラン

ではさまざまな事務改善を進めていますが、令和5年度では、出勤システムを導入して電子化を進めるとともに、コピー機等を一括導入したことにより、事務経費について大幅に削減を見込んでいます。

## スクールカウンセラーの配置を拡充

**問** スクールカウンセラーの相談件数が、昨年度と比較して倍近く増加しているが、その原因は何か。

**答** 町で任用しているスクールカウンセラーは、令和4年度は週3日の勤務でありましたが、令和5年度からは勤務日数を1日増やして週4日に拡充しています。このうち3日は小学校を拠点としていますが、1日は新たに斑鳩中学校と斑鳩南中学校を隔週で勤務する形にしたことにより、相談の増につながったと考えられています。

## 不登校等の小中学生を支援するフリースペースを設置

**問** 不登校対策として令和5年度に開設した「斑鳩町子どもと親のフリースペース くるむ」について、活動状況と利用人数はどのようになっているか。

**答** 令和5年9月に開設し、今日まで3人の児童生徒が入室手続きをしています。また、令和6年度から、未然防止と初期対応の充実をはかる「アイ・キャッチ」プロジェクトを開始し、新たに出席扱いとしています。

今後とも学校に通いづらいと感じておられる児童生徒の活動の場及び心の居場所の確保方策のひとつとして、「くるむ」の活用をはかっていきたいと考えています。



▲斑鳩町子どもと親のフリースペース くるむ

## 国民健康保険事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療特別会計

### 積極的な人間ドック受診を

**問** 県単位化が実施され6年が経過し、県が財政の責任主体となり国民健康保険事業の安定化が図られているとされているが、歳出抑制のため、保健予防事業にどのように取り組んでいるか。

**答** 特定健康診査が義務づけられており、メタボリックシンドロームを原因とした病気に着目して、保健事業を展開しています。例えば、糖尿病性腎症の重症化予防などの予防事業を進めています。

また、国民健康保険の被保険者に対して人間ドックの受診も勧奨し、それらの結果を提出していただくことにより、保健指導のほうにつなげていくよう進めています。

### 介護保険料を低く抑制

**問** 介護保険事業特別会計について、一般会計からの繰入金が増加しているが、今後高齢化が進むと、介護保険料が上がるのはいやむを得ない部分があると思うが町の見解は。

**答** 介護保険の保険料は法的に算定方法が決まっております。今後3年間の給付量を見込んだ上で必要な保険料額を算出します。3年後に次の保険料を算定することになります。後期高齢者の増に伴う給付費用の増により、保険料が高くなるのが予想されます。しかし、現在斑鳩町の保険料は、さまざまな事業で給付を抑えることにより県で下から3番目の保険料額となっております。今後も引き続き、様々な事業を通して健康寿命の延伸を図りながら、何とか保険料が少しでも安くなるように取り組んでいきたいと考えています。

計画的に老朽管を更新

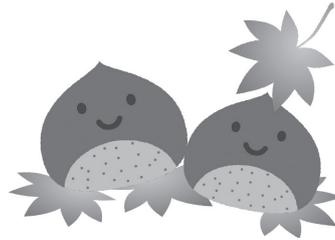
**問** アセットマネジメントにより、計画的に老朽管の更新を進められているが、令和5年度の進捗率が伸びた原因は何か。

**答** 第5次総合計画として、令和3年度から10年間において漏水等ライフラインの影響を考慮して、口径150ミリ以上の管路で40年以上経過した塩化ビニール管の更新を整備目標としています。こちらについては他事業との関連、優先順位等を考慮しまして、整備を進めています。令和4年度では他事業との関連を考慮しまして、口径150ミリ以上の管路の整備延長が145メートルでしたが、令和5年度は552メートルの更新が進められたことから進捗率が大幅に上昇しています。

このほか、たくさんの方の質問回答があり、審議を深めました。

審査の結果、一般会計、各特別会計等の決算はすべて認定すべきものと決しました。

(木澤委員長記)



決算審査特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 木澤正男  |
| 副委員長 | 小城世督  |
| 委員   | 溝部真紀子 |
| 〃    | 齋藤文夫  |
| 〃    | 伴吉晴   |
| 〃    | 横田敏文  |
| 〃    | 奥村容子  |

本会議での  
討論

議案に対して賛否が分かれた場合等、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。  
9月定例会で1件の討論が行われました。

令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
(賛成多数で認定)

【反対意見】 濱議員

令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計について、日本共産党は予算の時点で反対を表明いたしました。その理由は保険料の値上げ等でした。

決算の推移では、町の単年度実績収支で黒字が見られます。累積赤字を計画的に減らしていくことが実現まじかに感じましたが、滞納増加・収納率の低下が続き、保険料の減少も続くと、累積赤字解消から遠ざかっていきます。

滞納者がどのような理由で滞納せざるを得ない状況にあるのかをきちんと見極め、対応することが肝要と思います。

国保税が高すぎることを解消する手立ては町だけではできません。令和5年度から一般会計からの法定外繰り入れを中止しました。これについては存続が望まれません。また、今こそ国・県からの財政支援が必要です。更に要望をされるようぞみします。

【賛成意見】 横田議員

国民健康保険では、国保の安定的な運営を図るため、奈良県が財政運営の責任主体となって、令和6年度からの奈良県での保険料率の統一化などを進めてこられました。

そのなかで、斑鳩町でも、保険料水準の令和6年度からの統一化のため、国民健康保険税の税率改定が進められたところでもあります。

このようななか、令和5年度では、単年度収支がおよそ1千万円の黒字となり、累積赤字を削減されるなど、一定の評価ができるものと考えるところであります。

町には、今後も、医療費の抑制を図り、また未納者対策をより強化されるなど、一層の国保財政の健全化に努めていただくことを強く要望いたしまして、賛成意見とさせていただきます。

# 一般質問 Q &A

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、9月5日・6日の両日、7人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

## 木澤正男・6ページ

- ◎観光事業等の指定管理者の選定について
- ◎災害時の断水を想定した既存井戸の登録について
- ◎町職員の管理職への登用について
- ◎業務委託における個人情報取扱い・保護について
- ◎マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う今後の対応について

## 小城世督・7ページ

- ◎法隆寺駅からの移動手段について
- ◎課外授業や体験学習の現状について

## 齋藤文夫・7ページ

- ◎自治会の活性化について
- ◎公園行政の今後の方向性について
- ◎認知症になっても生き生きと暮らせるまちづくりについて
- ◎斑鳩町の農業振興について

## 溝部真紀子・8ページ

- ◎先日、南海トラフ地震臨時情報が発表され、住民の防災への関心が高まっていると思います。改めて斑鳩町の防災の取り組みについてお伺いします。

## 濱真理子・9ページ

- ◎補聴器購入費補助の充実を
- ◎町職員の時間外勤務及び休暇取得状況に改善が必要ではないか
- ◎クーリングシエルトについて

## 伴吉晴・9ページ

- ◎町水道の地震等の災害対策について

## 奥村容子・10ページ

- ◎带状疱疹ワクチン接種費用助成について
- ◎命を守るAEDの充実について
- ◎屋外で働く職員の熱中症予防対策について



## 災害時の断水を想定した 民間既存井戸の登録を



木澤 正男

**議員** 南海トラフ等の巨大地震が発生すると、他自治体からの支援も受けづらい状況が想定され、長期にわたる断水への備えが必要で、県下の他の自治体では民間の既存井戸を災害時に公共の水として使えるよう協力を呼びかけ、事前に登録していただくという取り組みを行っています。

斑鳩町でも同様の取組みを行い、災害時の備えを進めていくべきではないでしょうか。

**総務部長** 既存井戸の活用について、町としては生活用水に活用するに当たって、水質が衛生的に使用可能か、どのようにして水をくみ上げるのか、大量の使用に耐え得る湧水量が十分

にあるのかなどの課題、問題点を想定していますが、先進地事例の調査・研究を進めてまいりたいと考えています。



**業務委託における個人情報取扱い・保護について**

**議員** 自治体などから印刷業務等を請け負っていた情報処理サービズ会社がサイバー攻撃を受け、和歌山市

や徳島県などで40万件近い個人情報流出が明らかになったとの報道がありました。当町で個人情報を取り扱う業務のうち、民間業者等に委託しているものがあるか、また、その際の個人情報保護対策についておたずねします。

**総務部長** 当町で個人情報を取り扱う業務のうち、民間業者等に委託しているものは、町税納税通知書作成業務、検診等勸奨はがき印刷業務、計画策定業務におけるアンケート調査の実施などがあり、また、窓口での受付業務で個人情報を取り扱わせる業務として、役場庁舎の総合案内や宿・日直業務、生き生きプラザ斑鳩の総合案内、中央体育館受付業務などがあります。委託業者に確認したところ、斑鳩町ではこれまでに個人情報流出したことはありません。今後とも引き続き、国が示す運用基準等を確認しながら、個人情報の保護対策に遺漏のないよう進めていきます。

## 法隆寺駅からの移動手段について



小城 世督

**議員** 新型コロナウイルスの影響も少しずつ落ち着き、斑鳩町においても観光客が戻りつつあります。

さらに今後は、インバウンドは加速し、観光客の増加や、観光以外でも町内への訪問者が増加すると思われれます。

そうした中、法隆寺駅からの移動手段について現状をお伺いします。

**都市建設部長** 現在、法隆寺駅からのバスについては、奈良交通バスの法隆寺参道方面行き、安堵町かしの木台方面行きのほか、斑鳩町と安堵町のコミュニティバス、斑鳩町社会福祉協議会のいきいき号が運行しています。また、バス以外には、タクシーやレンタ

サイクルもあります。

**議員** 現在の交通手段では、バス、タクシーが主になっていますが、特に、タクシーに関しては、需要と供給が見合っていない、不便な状況が続いています。

そこで、新たな交通手段を取り入れる必要があるのではないかと考えます。磯城郡の3町では、シェアサイクルが導入されました。

また、奈良県では導入されていますが、電動キックボードなどもあります。借りた場所に返さず利用できる電動自転車と電動キックボードのシェアリングサービスの活用について、斑鳩町の見解をお伺いします。

**都市建設部長** シェアリングサービスは、公共交通の補完や観光振興などに一定の効果が見込めると考えています。導入については、

今後、先進地の事例を参考にし、費用対効果を十分に勘案して、研究・検討を進めていきたいと考えています。

**議員** シェアリングサービスの早期導入とともに、万博の期間だけでも、運賃の値下げや、バスの増便など、来られた方が、移動手段がないことによってがっかりされないように、町として取り組んでいただきたいと思えます。



▲電動キックボード

## 自治会の活性化について



齋藤 文夫

**議員** 自治会は、核家族化、少子化、高齢化の進行、住民の価値観やライフスタイルの多様化、社会環境の変化などが進行し、地域における人と人とのつながりが弱くなっている。自治会加入率の推移はいかがか。

**総務部長** 自治会加入率は令和5年度で63・6%、10年前から13・3%減少している。

**議員** 自治会員数の減少により自治会費の収入が少なくなり、自治会集会所の維持経費が厳しくなっている。文具料の引上げなどをお願いする。

**総務部長** 文具料は、地域住民と町行政との連絡調整等の費用としては賄えているものと考えている。

**議員** 地域集会所施設整備費等補助金として、机、椅子、テレビ、冷蔵庫に限り補助があるが、エアコン、DVDなどの対象商品の追加や修繕費・改造費の補助対象金額の下限の引下げについて、検討をお願いする。

**総務部長** エアコンは補助している。地域集会所施設整備費等補助金の内容の充実等は、現在、進めている地域交流館整備計画の見直しに合わせ実施し、補助対象工事費の下限の引下げなども検討する。

**議員** 宅地開発の際に、住宅関連事業者から入居者への自治会加入の働きかけはどうか。

**総務部長** 斑鳩町開発指導

要綱に基づき、事前協議を実施し、自治会加入について指示している。

地域の自治会に対しても情報提供に努めている。

**議員** 現状にマッチした自治会の在り方や運営を具体的に検討する時期が来ている。斑鳩町のお考えはどうか。

**総務部長** 自治会運営に関するご相談があった際は、個々に丁寧にお話を伺い対応している。

今後、先進地事例の調査・研究等を重ね、自治会連合会を通じて各自治会の課題やご意見等も伺いながら、自治会が持続的に活動していくことができるよう、地域の皆様の主体的な取組みを支援していく。



## 斑鳩町の防災について



溝部 真紀子

**議員** 南海トラフ地震臨時情報が発表されたことにより、防災に対する意識が高まっています。

斑鳩町の防災についてあらためてお伺いします。

職員さんの防災スキルはいかがでしょうか。

**総務部長** 斑鳩町では、これまでに関西・淡路大震災をはじめ東日本大震災、紀伊半島大水害、鳥取県中部地震、そして能登半島地震などへの被災地支援として一般事務職や保健師、水道事業職員を派遣してきました。

被災地の現状を目の当たりにした中で、体験を通して気づき、知識、知恵を積み重ねています。

今後も引き続き、関係機

関とも連携を図り、平常時から町職員の防災教育等に努めるとともに、併せて避難所で活用する資機材等の整備にも努めます。

**議員** 災害対応される職員さんの食糧、トイレ、宿泊施設の確保についてはどのようなお考えでしょうか。

**総務部長** 町職員の福利厚生については、斑鳩町地域防災計画において、宿泊施設等の確保に努めており、食糧等の調達は協定業者等から調達する計画です。

今後、災害対策活動に当たる町職員を対象とした、食糧、飲料水及び生活必需品について災害対応が円滑に行われるよう、その備蓄を計画的に進めてまいります。

**議員** 指定避難所以外の避難収容施設、また、民間宿泊施設と協定を結んでいく考えを伺います。

**総務部長** 福祉避難所として、あゆみの家、ケアハウス第二慈母園と、車中避難ができる緊急時避難協力施設として、イオン斑鳩店、ジョーシン斑鳩店と協定を締結しています。

また、現在、斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業の事業者と、宿泊施設への避難に係る協定についても協議を行っています。

**議員** 避難所の想定収容可能人員や、職員さんの福利厚生などを踏まえ、民間宿泊施設への受入れの可能性を広げて下さい。



# クーリンググシェルター 活用の充実を



濱 眞理子

**議員** 熱中症警戒アラート

発表時は、かなり危険度が高い状況であり、発表までも十分な警戒が必要です。

猛暑は、避暑地の気温観測の更新をもたらしています。クーリンググシェルターの利用状況はいかがですか。

**住民生活部長** クーリンググシェルターは、熱中症による健康被害の発生を防止するため、町が指定した施設で、熱中症特別警戒アラート発表時に、一般に開放し、暑さをしのぐ場所になります。

奈良県ではこれまで熱中症特別警戒アラートの発表はなく、開設は行っていません。

本町では、令和6年5月

1日に斑鳩町役場、中央公民館、東・西公民館、東・西老人憩の家、総合保健福祉会館の7か所を、7月1日には、法隆寺郵便局、竜田郵便局、斑鳩興留郵便局の3か所にもご協力いただき、合計10か所を指定し、約140人の方にご利用いただけるようになっていきます。

本年は非常に暑さの厳しい日が続いていることから、クーリンググシェルターに指定している施設に來られた方が、用件を済まされた後も涼んでいかれることが多く聞いております。

**議員** 広報では、柔軟な対応をする等の説明が十分でなく、住民への周知は難し

いと考えています。

町内の商業施設も自主的に設置され、椅子等の設置と水分補給ができるなど、利用者もあります。

町ではその情報を把握していますか。

**住民生活部長** クーリンググシェルターの認知度を高めるとともに、熱中症警戒アラート等のメール配信サービスの利用の啓発を行っています。

また、身体の調節機能が低下している高齢者の健康教育など、引き続き、熱中症予防対策に取り組んでいきます。

クーリンググシェルターの来期以降の指定については、協力いただける施設等があれば、広く求めていきたいと考えています。



## 町水道の地震等の 災害対策について



伴 吉晴

**議員** 今年に入り、大きな地震が続いているが、当町の水道管の耐震化率を伺う。

**都市建設部長** 令和3年度末の上水道管の基幹管路の耐震適合率は、全国平均41・2%に対し、本町は43・9%となっています。

**議員** 今後の水道施設の更新計画はどのようになっていくのかを伺う。

**都市建設部長** 令和7年度からの県域一体化による事業統合を進めているところですが、本町を含めた奈良県広域水道企業団全体の基幹管路の耐震適合率は、30年後には81%となる見込みです。

また、経年施設更新計画として、10年間で毎年2億1千万円の予算が確保されることになっています。

**議員** 地震等で町水道が大きく破損した場合、水道水の備蓄は何日分もつのかを伺う。

**都市建設部長** 町内にある配水池は、三井浄水場、第一浄水場、北部配水池の3か所で約1万3千トンの貯水量があります。

災害発生から3日まで1日84トン、4日以降は1日560トン必要となることから、約18日分の水は確保できると考えています。

**議員** 町水道の大地震に対する今までの対策と、これからの対策を伺う。

**都市建設部長** 現在の災害対策については、給水対策



▲三井浄水場配水池

として、給水用のトラックと、給水タンク2基を保有しており、災害関連物資として給水パックや1トンの仮設水槽を備蓄しています。次に、今後の対策については、令和7年度から、県域一体化による事業統合となった場合、地震等災害の発生に備え、存続する浄水場間の緊急連絡管として、御所浄水場と桜井浄水場の2系統間の水が融通できることとなります。

**町長** 町施設の井戸水を災害時に使用できるように確保するとともに、民間の井戸の利用も検討するなど、生活用水等の対策や、水道管の耐震化についても進めてまいります。

## 带状疱疹ワクチン 接種費用助成について



奥村 容子

**議員** 加齢やストレスなどで免疫力が低下した際に、皮膚や神経に炎症を起こす带状疱疹は、幼少期にかかった水ぼうそうのウイルスが再活性化し、50歳以降に激しい痛みを伴って発症します。80歳までに3人に1人が発症することです。

带状疱疹の発症及び带状疱疹後神経痛等の重篤化を予防するために、带状疱疹ワクチンの接種が必要となります。

現在は任意接種のため、生ワクチンは約1万円、不活化ワクチンは4万円の接種費用が生じます、厚生労働省の専門家委員会は、6月20日、高齢者を対象とする带状疱疹ワクチン

ンについて、科学的に定期接種が妥当と判断しました。带状疱疹ワクチン接種について、公費の負担や定期接種化について、国の動向、带状疱疹ワクチン接種費用助成についての町の考えを伺います。

**住民生活部次長** 带状疱疹ワクチンは、带状疱疹や带状疱疹後神経痛などの合併症による重症化予防を目的に、定期接種化が検討されています。

対象年齢については、罹患率がピークとなる70歳頃に十分なワクチン効果が発揮できるようタイミングを設定する必要があり、高齢者を対象としたインフルエンザなどのワクチンを参考にすると、65歳がひとつの



区切りになるのではという意見も出ています。使用のワクチンについては、現在、国内で薬事承認されている生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があります。持続期間は、不活化ワクチンで10年程度、生ワクチンは5年程度となっていることから、持続期間を考慮して、対象年齢が検討されています。

町として、国の動向に注視しながら、接種費用の助成について慎重に検討したいと考えています。

**議員** 50歳以上で発症率が急速に上がることから、町独自の助成も検討を要望し、接種体制の早期整備を図っていただきますよう、よろしく願いいたします。

### 〈お詫びと訂正について〉

議会だより NO.121 号において、3 ページの記事に誤りがありましたので、下記のとおり訂正し、お詫びいたします。

◆一般質問 奥村容子議員

(正) #8000 (誤) #800

### 議会を傍聴してみませんか!

斑鳩町議会では、「開かれた議会」をめざしています。みなさんの選んだ議員が、議場や委員会でのような発言をし、行政はどう答えているのか、みなさんご自身でお確かめください。また、事前に通告された一般質問の要旨は、斑鳩町ホームページ(<https://www.town.ikaruga.nara.jp/>)に掲載しています。斑鳩町HPで斑鳩町議会をクリックしてご覧ください。

議会事務局 TEL 0745-74-1091 (直通)

# 建 設水道常任委員会

9月13日に、全委員出席のもと委員会を開催しましたので、概要を報告します。

本会議から付託を受けました5議案については、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

## 委員会付託議案

◎平成緊急内水対策事業に伴う調整池整備工事請負契約の変更について  
埋蔵文化財の発掘調査に時間を要したことから、工期を令和7年3月31日まで延長する内容です。

◎奈良県広域水道企業団設立に関する協議について  
水道事業の県域一体化をはかるため、奈良県および26の関係市町村で構成される奈良県広域水道企業団を設立するための協議です。なお、企業団設立は令和6

年11月の予定とのことです。

また、奈良県広域水道企業団基本計画と会議のスケジュール等について説明があり、令和7年4月に事業統合される予定とのことです。なお、本議案について、委員1人より、賛成意見の討論がありました。

◎奈良広域水質検査センター組合規約の変更について

◎奈良広域水質検査センター組合の解散について

◎奈良広域水質検査センター組合の解散に伴う財産処分について

いずれも、奈良広域水質検査センター組合の解散に関するもので、解散に伴う事務の承継についての規約変更、奈良広域検査センター組合の解散に関する協議書について、奈良広域水質検査センター組合の財産処分に関する協議書について合意をはかるものです。



## 継続審査案件

◎都市基盤整備事業に関することについて

JR法隆寺駅南側地区の整備の進捗状況として、駅南側地区の利活用に関するサウンディング型市場調査に着手し、今年度は利活用内容を具体化し基本計画をとりまとめ、令和7年度で、民間活力導入可能性調査を実施し、令和8年度以降に事業者の募集を行う予定との報告を受けました。  
サウンディング型市場調

査とは、事業地の有効活用を検討するにあたり発案段階において、事業者から広く意見や提案を求め、対話を通じて事業地の市場性や活用のアイデアを把握する調査手法です。

この市場調査を実施し、今後の事業者募集を見据え、民間事業者に町の基本的な考え方について理解促進を図り、本事業への参画の可能性と参画が可能となる条件を確認し、当地区のまちづくり基本計画の検討を考えているとのことでした。



▲JR法隆寺駅南側地区利活用エリア(想定)

## 各課報告事項

◎三代川河川改修工事について

◎桜池耐震補強工事について

◎斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業について

呉竹荘において、施設運営方針の転換を図られ、その計画概要について、報告がありました。

宿泊施設を古民家風の一棟貸しスタイルに変更され、施設開業時期は、予定どおり令和8年3月とのことです。

◎水道事業会計に係る財政推計について  
◎水道事業の県域一体化について  
◎水道事業職員の採用について

## その他

・三室井堰の改修について  
(小城委員長記)

9月17日、全委員出席のもと委員会を開催しましたので、概要を報告します。

本会議から付託を受けました7議案については、すべて可決すべきものと決しました。

# 厚

## 生常任委員会

### 委員会付託議案

◎斑鳩町ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例について

児童扶養手当施行令の改正により、令和6年11月1日から所得制限額が引き上げられるため、所要の改正を行うものです。

◎斑鳩町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法の一部改正に伴い、令和6年12月2日以降、現行の国民健康保険被保険者証が廃止されることを受け、規定の整理が必要なことから、所要の改正を行うものです。

◎令和6年度塵芥収集車(ダンプトラック)の取得について

現在所有しているダンプトラック車1台が購入後29年目を迎えることや、半導体不足などの影響で納品まで1年以上かかることから、

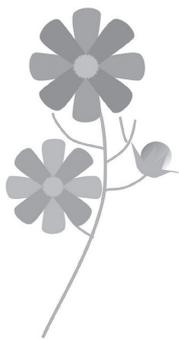
ら、収集業務に支障をきたすことがないよう万全を期するため、ダンプトラック車を新たに1台取得するものです。

◎令和6年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

県支出金等の返還に係る予算補正などで、歳入歳出それぞれ、162万1千円を追加し、28億2,452万1千円とするものです。

◎令和6年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

令和5年度の本特別会計の決算額の確定に伴う繰越金と、国及び県の負担金並びに支払基金からの交付金の精算に関するものなどで、歳入歳出それぞれ2,909万円を追加し、27億5,339万円とするものです。



◎令和6年度斑鳩町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

過年度保険料の償還に伴う予算補正などで、歳入歳出それぞれ、107万8千円を追加し、6億1,133万2千円とするものです。

◎奈良県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、令和6年12月2日以降、現行の被保険者証が廃止され、規約の整理が必要なことから、所要の改正を行うものです。

### 継続審査

○環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

可燃ごみ、生ごみの戸別収集モデル事業実施計画の概要について報告がありました。

実施期間は令和7年4月から、令和7年9月末まで

の半年間とし、モデル自治会におけるアンケート調査や収集業者との協議等を行うことで、問題や課題などを抽出するとともに、改善を加えながら進めていくことでした。



### 各課報告事項

○令和6年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について

当委員会所管にかかる事項の報告を受けました。

○町立保育所の給食における異物混入について

○新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害の認定について

### その他

・保育園の入園申し込みに係る規定について

(溝部委員長長記)

# 総

## 務常任委員会

9月18日、全委員出席のもと、総務常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。  
 本会議より付託を受けました1議案は、満場一致で可決すべきものと決しました。

### 委員会付託議案

#### ◎令和6年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について

- ・定額減税減収補てん特例交付金額等の決定に伴う増額
- ・令和6年度の普通交付税交付額の決定に伴う減額
- ・国の新型コロナウイルス感染症予防接種費用の見直しに伴う増額
- ・令和5年度会計の決算剰余金の確定に伴う増額
- ・郵便料金の改定に伴う増額
- ・防犯灯の設置補助金の交付に伴う増額
- ・小中学校、幼稚園、保護者、



教育委員会等が共通で使用できる連絡アプリ導入に伴う増額等により、歳入歳出それぞれ2億4,296万7千円を追加し、112億6,111万5千円にするものです。

### 継続審査

#### ○斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについて

- ①斑鳩町文化財活用センターの展示会『秋季特別展 藤ノ木古墳発掘調査40周年 プレイイベント』大和の大型横穴式石室の被葬者像にせまらるる』を10月26日から12月15日まで開催すること、展示会に関連したシンポジウムを、11月16日に開催すること。
- ②秋季の史跡藤ノ木古墳石室特別公開を開催すること。



▲藤ノ木古墳

- ③「こども勾玉づくり教室」を8月4日に10組20人の参加を得て開催したこと。
- ④内水対策事業としての遊

水地設置工事に伴って法隆寺北1丁目地内の法隆寺周辺遺跡の発掘調査を実施したこと。

- ⑤奈良大学と共同で、吉田寺境内に隣接する小吉田1丁目の間人皇女墓の墳丘測量調査を実施したこと。
- ⑥いかるがパークウェイ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査について、令和4年度の試掘調査において、古墳時代を中心とした遺構や遺物がみつかったため、区間を拡張した本調査に着手したとの報告がありました。

### 各課報告事項

- 職員採用試験について
- 下司田池の管理について
- 町立小学校の給食における異物混入について

### その他

・小中学校運動会用テントの設置について

(齋藤委員長記)

## 議会の議案書を閲覧できます

議会に上程された議案書は、役場3階の議会事務局で閲覧することができます。それぞれの議案について詳しく知りたい場合は、役場3階の議会事務局までお越しくください。

議会事務局 (☎74-1091・直通)



## 町議会のさまざまな情報を ホームページで発信しています



### 一般質問要旨

議員が行政全般にわたって、町長など執行機関に対して、質問や報告・説明を求める「一般質問」。

どのような質問が行われるか、本会議初日(夕方)にアップしています。

### 会議録

本会議や各委員会の会議録を掲載しています。



### 議案・審議結果

各定例会等に提出された議案と議決結果を掲載しています。



### 議会の日程

#### 閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

11月18日(月) 建設水道常任委員会

21日(木) 厚生常任委員会

22日(金) 総務常任委員会

26日(火) 議会運営委員会

#### 令和6年12月議会

12月2日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

5日(木) 一般質問【本会議初日に町ホームページに

6日(金) 一般質問 一般質問の要旨を掲載します。】

9日(月) 建設水道常任委員会

10日(火) 厚生常任委員会

11日(水) 総務常任委員会

13日(金) 議会運営委員会

18日(水) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。  
すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎(74)1091 直通

## 編集後記

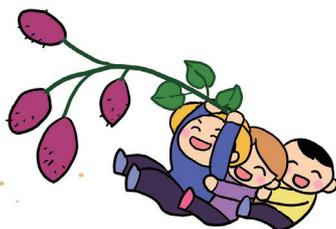


小学生の頃に「ああ、そうなんや」と思ったこと。

中華そばを食べながら見た壁のカレンダーは、中国仕様で「日本の祝日」はありません。

図書館で開いたアメリカの世界地図では、日本は中央にはありません。

(濱委員長記)



### 広報発行常任委員会

委員長 濱 眞理子

副委員長 溝部真紀子

委員 小城 世督

〃 伴 吉晴

〃 嶋田 善行

〃 奥村 容子